

LIBRARY NEWS

No.57, Oct. 2016



57

- 「ややや！北見工業大学から100冊の本がやって来た」！ / ブックハンティング参加者募集中
- 私のお勧め本 「進化の存在証明」 日下部博一准教授
- 図書館からのお知らせ

「ややや！北見工業大学から100冊の本がやって来た」展示中です

10月6日(木)から、北見工業大学からの蔵書交換展示(通称「ややや！」)の展示が始まりました。

今話題の人工知能やプログラミングなどのIT・情報システム関係や、注目されているエネルギー問題に関連する本、地球科学にマテリアルなど、工学系ならではの100冊で、北見工大の先生がオススメされたものも含まれています。

見ただけで脳が拒否するような(!?)難しい工学一辺倒の図書ではなく、数学や物理のほか『ITが医療を変える』といった医学にも関連するものや、『化学者たちの感動の瞬間：興奮に満ちた51の発見物語』のような知的好奇心を掻き立てるエピソード集、『世界一空が美しい大陸南極の図鑑』といった癒やしにもなる写真集もありますので、疲れたときにもオススメですよ♪

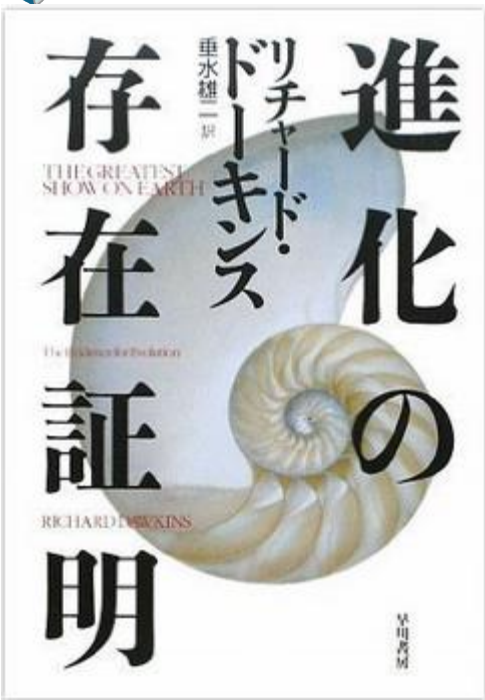
展示期間は10月26日(水)までを予定しています。貸出もできますので、短い期間ですが、ぜひ手に取ってみてください！



ブックハンティング参加者募集中！

11月2日(水)午後、学部学生を対象に、ブックハンティングを開催します。

図書館スタッフと一緒にジュンク堂書店へ出かけて(車での送迎付きです！)、図書館に置いて欲しい本を実際に手にとって選書することができる企画です。医学書や勉強用の図書は購入希望のリクエストが可能ですが、それ以外の**一般書を推すのはブックハンティングでしかできません**。先着10名様まで募集していますので、ぜひぜひご参加ください。お申し込みお待ちしております♪
(申込〆切:10/21(金)17:00 / 詳しくは図書館HPのお知らせをご覧ください)



日本では、ダーウィンの進化論は理科教育で普通に教えられており、人類が他の動物から進化したことを否定する人は少数派である。一方、米国では、「地球上の生命は始まりの時から現在の姿で存在し、人間は神が創造した」と考える人は40%を超える。生物学者である著者は、進化は「事実」であると強く主張している。生物に起こる進化上の変化があまりにゆっくりすぎるため、我々はそのほとんどを観察・目撃することができない。ところが、現存する生物を観察すれば、進化が事実であることを証明できる。それは、探偵や病理学者が、犯罪・事件現場の痕跡から過去に起こったことを推定することと似ている。化石の証拠は、進化が事実であることを実証するためには必ずしも必要ない。そして、生物の「種」が変化しうるとは人為選択(家畜や農作物などの品種改良)の例によって理解でき、選抜実行者が人間ではなく「自然」であっても同様のことは起こる。

本書は、細菌培養によって進化が観察可能になることや、胚発生の器官形成は「ローカル・ルール」に従うことなど、進化が事実であることを補強する内容を多く含む。進化を学習する機会が少ない本学の学生に薦めたい本である。

進化の存在証明 /
リチャード・ドーキンス著 ;
垂水雄二訳

図・2F開架/一般教養
467.5/Shi



The Greatest Show
on Earth

ダーウィンの画像
イギリス情報サイト「ダーウィンの家」
<http://www.ukinfo.jp/>



図書館からのお知らせ

サイエンスカフェ開催しました。

10月4日(火)ディスカッションスペースで図書館サイエンスカフェを開催しました。

今回は、「見逃さない医療のために」とし、臨床検査医学講座の藤井教授、放射線医学講座の高橋教授、麻酔・蘇生学講座の国沢教授から、それぞれの教室の研究・診療等について貴重なプレゼンをいただきました。

藤井教授からは、マイクロRNAを応用して体の異常をいち早く見つけだす研究についてお話いただきました。ところどころに他の研究者との楽しいお写真やご趣味のお写真を交えていただき、充実した研究生活を垣間見せていただきました。

高橋教授からは、臨床現場さながらに画像写真を見ながら、診断所見、見落としてはならない症例やシルエットサインについてお話いただき、画像診断の魅力が伝わってきました。

国沢教授は、麻酔科医は成功率100%しか許されない、と厳しい切り口で語り始め、先生が監修されたテレビドラマ、麻酔科の仕事のアピールする映像や最先端の3D-TEEの動画を次々と繰り出し、聴衆は思わず引き込まれました。

参加されたみなさま、ご登壇の先生、ありがとうございました！

図書館ではお静かに

館内で大きな声で話す人が増えました。ホールから図書館に入っても、または、南棟ディスカッションスペースからの移動中など、大声で話し続け、館内で勉強する人の大迷惑になっています。

図書館では、通行スペースも含め、全てのエリアで会話は慎んでください。唯一、ディスカッションスペースの中だけが、学術的会話ができるスペースです。このスペースにおいても、他に響き渡るような騒がしい行動は、ご遠慮ください。

なお、パソコンコーナー・パソコン室でも会話はできません。打合せが必要な場合は、あらかじめ別な場所で行なってください。

図書館内は共有の空間です。自分のことだけ優先せず、モラルのある行動をお願いします。